

1, 概要

令和3年度は、新型コロナウイルスとの共生を模索する一年となりました。地域福祉推進において不可欠な集いや人と人との面談・会話等が制限されるなか、オンライン環境の整備による研修機会の確保、オンライン面会、消毒・換気などの感染対策を行っての小規模な集まりなど、コロナ禍の中でも活動・交流を途切れさせないことに腐心して参りました。

敬老会やあじさい交流会、介護者教室、介護者の集いなどの事業は、実施形態を変更し、短時間・少人数での開催を心掛けました。

また、多くの高齢者が暮らす場でもある招福苑では、面会制限や消毒・換気などの感染対策を継続実施し、入居者の生命と生活を守ることに傾注してまいりました。

介護保険事業(ホームヘルパー・デイサービス・ケアマネージメント等)につきましては、中止や休止はせず、通常通りのサービス提供を行うことができました。ショートステイにつきましては、相部屋を控え、1名1室の利用にさせていただきました。

知夫村から指定管理を受けている招福苑の居住部門は、令和3年度の1年間で、5名の居住者が退所され、新たにご利用様を4名迎えました。令和4年3月末現在20名の方が利用されています。入居を希望する住民の方は今後も増加が見込まれ、入居待ちの状態となるため、地域での暮らしをどのような方法で支えていくかが継続的な課題となっています。

2, 重点目標について

① 招福苑居住部門

- ・行政による建物診断調査が行われ、改修に向けての計画が着手されました。
- ・苑上道付近の倒木が撤去され、環境整備が行われました。
- ・お花見ドライブ、敬老会代替のミニイベント、クリスマスバイキング、季節のおやつでお茶会など、コロナ対策を行いながらも利用者の生活に彩りを添える行事を行いました。

② 介護保険事業

- ・デイサービスでは和室の模様替えや椅子式のこたつの購入等を行い、利用者がゆっくりとくつろげる環境づくりに努めました。
- ・車いす対応型の軽車両1台の配備を行いました。
- ・ホームヘルパーは、多職種で情報共有を行い、一人一人の利用者の生活の目標を意識しながら介護サービスの提供を行いました。
- ・ケアマネージャーは3名体制で、関係機関やご家族と連携しながら、先を見据えた支援に努めました。

③村委託事業

- ・配食サービスでは、申し込み⇒相談⇒サービス提供⇒振り返りのサイクルを行政と連携して行うことで、適正なサービス提供のできる体制を整えました。
- ・居住者へは誕生日リクエストメニューの提供等に取り組みました。
- ・調理スタッフ向けの研修・情報交換会を行い、資質向上に努めました。
- ・生活支援体制整備事業では、レクリエーション用品の充実や健康づくりの会サポーターの情報交換会を行い、会の運営がスムーズに行えるよう支援しました。

④地域福祉活動推進

- ・令和3年7月に知夫村初の地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定しました。
- ・小中学校と連携し、授業への協力等を行い、福祉の仕事魅力発信に努めました。

⑤法人運営

- ・インスタグラム、フェイスブック等の SNS 活用、ホームページの改修等により事業の広報、福祉職場の魅力発信に努めました。
- ・正規介護職員2名(1名は嘱託からの転換)、事務・調理の嘱託職員1名を採用し、人材確保に努めました。
- ・国の方針に沿って介護職員等の処遇改善に取り組みました。
- ・オンライン環境を整備し、役職員研修を推進しました。
- ・カウンセラーによる月1回の相談会を実施し、職員のメンタルケアに努めました。

〈 指定管理事業 〉

(1) 居住部門事業（定員 24 名） “小さな島で、大きな支え”

住む人の希望に沿った暮らし方が意欲を持ってできるよう援助しています。また、季節行事を苑内で行い、楽しみと生きがいの創出に努めています。

一人暮らしやご夫婦のみの高齢世帯に加えて、介護を必要としておられる方にもご利用いただいています。令和3年度は5名の方が退所され、新たに4名の利用者さんを迎えました。

利用実人数 長期居住 24 名 ミニ居住 3 名



100歳おめでとう！



オンライン面会



お花見ドライブ

(2) 老人介護支援センター事業

高齢者福祉に関する内容について、地域住民からの相談に対して必要な助言や援助を総合的に行いました。併せて自治体や高齢者福祉施設、医療施設など、高齢者福祉を推進する関係機関との連絡調整を行いました。

◎福祉用具の貸与

介護保険の認定を受けていない方にベッドや車いすなどの福祉用具を貸出しています。(介護保険の認定を受けている場合は、介護保険制度が優先されます)

貸出福祉用具の種類:ベッド、車いす、体圧分散マットなど

利用実人数 24 名

〈 介護保険事業 〉

(1) 居宅介護支援事業

介護支援専門員 3 名が利用者の介護相談や居宅介護サービス計画を作成しました。

認定調査延べ人数 25 名、住宅改修 9 件、ケアプラン作成のべ件数 39 件

(2) 訪問介護事業

訪問介護員 常勤 12 名(兼務含む)・臨時介護員 2 名で、介護保険利用者の居宅を訪問し、身体介護、生活援助等を 365 日対応で実施しました。

利用実人数 29 名 延べ利用回数 13,073 回
(前年度比 19%増)



(3) 日常生活支援総合事業 訪問相当サービス

サービス提供体制は訪問介護事業と同様です。

利用実人数 5 名 延べ利用回数 352 回
(前年度比 5%減)

訪問相当・通所相当とは・・・?
介護保険の認定が要支援などの軽度の方が利用できるヘルパーサービスやデイサービスです。

(4) 地域密着型通所介護事業

介護職員 常勤 7 名(兼務含む)・生活相談員 3 名(兼務含む)、看護職員 1 名で、小規模ならではの和気あいあいとした雰囲気です。月曜日から金曜日(ただし、国民の休日及び 12 月 29 日から 1 月 3 日までを除く)対応で実施しました。

利用実人数 20 名 延べ利用回数 643 回
(前年度比 26%減)



新送迎車輛 (車いす対応車)

(5) 日常生活支援総合事業 通所相当サービス

サービス提供体制は地域密着型通所介護事業と同様です。

利用実人数 17 名 延べ利用回数 295 回
(前年度比 23%減)

(6) 単独短期入所事業

介護疲れ、介護者の冠婚葬祭などのときにご利用いただきました。365 日対応です。

利用実人数 11 名 延べ利用日数 178 日
(前年度比 61%減)



〈 村委託事業 〉

(1) 軽度生活援助事業

介護保険の認定を受けていない方にもホームヘルパーの派遣を行いました。

概ね 65 才以上の要援護者 利用実人数 24 名 延べ利用回数 1,114 回
(前年度比 93%増)

(2) 自立支援デイサービス事業

囲碁、カラオケ、笑和会、幼なじみ会など
趣味の集まりの場を提供しています。

概ね 65 才以上の要援護者
利用実人数 6 名 延べ利用回数 21 回
(前年度比 70%減)



クリスマスイベント

(3) 自立支援配食サービス事業

病弱等で食事の提供が必要と認められる
方に、食生活の支援及び訪問時声かけによる
安否確認等を行いました。

利用実人数 24 名 実施食数 2,890 食
(前年度比 15%減)

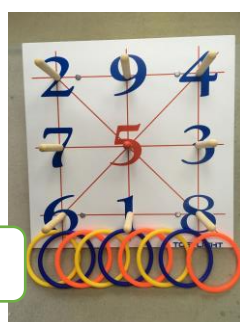


バレンタイン弁当、人参が♡

(4) 生活支援体制整備事業

生活支援コーディネーターを配置し、地区健康づくりの
会への支援を行いました。

地区での集まりなどで使えるレクリエーション用品を
揃え、貸出対応しています。 貸出件数 18 件
サポーター同士の交流会を行いました。(12 名参加)



レク用品、揃ってます！



歯科医師による
お口の健康講話

(5) 認知症対策総合支援事業

認知症の人やその家族を支援するための情報収集、介護・医療等の支援ネットワークの構築、連絡調整などを行いました。

どっさり祭りにおいて、認知症になったご本人の気持ちをつづった「87 歳になった私のおもい」という DVD を放映。認知症に関する書籍も展示しました。



どっさり祭り展示

87 歳になった私のおもい

私は自分のことが時々・・・
分からなくなります。
だれか教えてください。
あなたは誰ですか。
私の子供ですか。
私のつれあいですか。
私の孫ですか・・・(以下略)

(6) 家族介護支援事業

◎介護用品支給事業 対象者 8 名

要介護認定(4・5)を受けておられる方には、年 3 回支給券を発行し、介護に必要な消耗品などを購入していただいています。

◎家族介護者交流事業(介護者のつどい)

実施回数 1 回 参加者数 4 名

介護する上での悩みや思いを話し合う機会を設けるとともに、リフレッシュしていただくことを目的に交流会を行いました。

【11 月 2 日実施】



海士町 Ento 見学

◎家族介護者教室

10 月 28 日に招福苑において、本会職員が講師となり

認知症についての講習会を行いました。 参加者数 7 名



認知症への理解と対応方法について



頑張りすぎない在宅介護について

〈 地域福祉活動推進事業 〉

(1) 知夫村ボランティアセンター事業(相談受付を随時実施、調整及び情報提供)

- ◎無償ボランティア件数: 63 件
 - ・配食ボランティア のべ 60 名
 - ・招福苑厨房業務手伝(清掃)等 のべ 3 名

- ◎ボランティア清掃活動 10月16日(土)
1回 (参加者数 86名)

- ◎広報紙等の発行: 2回

- ◎ボランティアグループへの支援: ボランティア活動保険の加入援助 3回



秋の清掃活動

(2) 福祉団体等への活動助成(知夫村補助金含む) 遺族会、身体障害者協会、老人クラブ連合会、 各地区老人会、各地区、小中学校

(3) 民生児童委員協議会との協働事業 要援護者の見守り活動がスムーズに行えるように 支援しました。

民生委員・児童委員の活動内容

- ・定例会(月1回、招福苑にて)
- ・あいさつ運動(月1回、知夫小中学校にて)
- ・強化週間・・・高齢者世帯訪問等
- ・ブロック単位研修など



民生委員による学校訪問

(4) 赤い羽根共同募金運動の推進



社会福祉事業推進の為の財源を
集める運動を展開しました。

今年度は、「ガチャガチャ」マシンを2台に増設し、
商店等にご協力いただいて募金を呼びかけました。

【実施期間: 10月1日～12月31日】

戸別募金	212,520 円
職域募金	84,000 円
学校(生徒会)	8,690 円
ガチャガチャ募金	10,800 円
その他募金	34,990 円
合計	351,000 円
	前年度比 17.2%減

ご協力いただいた募金は、次年度の敬老会やあじさい交流会などの事業経費に配分されます。

(5) 福祉学習推進事業

◎知夫小中学校福祉学習協力

・中学3年生総合の時間に企画された「だんだんプロジェクト」への協力を行いました。

・中学1年生学活の時間に行われた「進路・働く人に話を聞こう」に職員が参加し、介護の仕事について話をしました。



働く人に話を聞こう

(6) ふれあい訪問

今年度はコロナ禍もあり、全体的な訪問は差し控えました。消防署による高齢者宅防火点検の際に本会職員が一部地域を同行訪問しました。

訪問世帯数 13 世帯

(7) あじさい交流会(共同募金配分金事業)

例年行っていた食事会ではなく、短時間でのゲームやティータイムを楽しみました。

職員手作りのシフォンケーキは大好評でした。 参加人数 12 名



(8) 敬老会代替事業(共同募金配分金事業)

◎80歳以上の方への日用品の配布を行いました。 日用品配布 87 名
また、80歳以上のご夫婦3組に表彰状と記念品を贈呈いたしました。

◎招福苑居住者及びデイサービス利用者を対象にミニイベントを開催

【9月15日開催】 参加人数 25 名



(9) 在宅介護サポート事業(共同募金配分金事業)

在宅において介護されている世帯のうち、要件に該当する世帯に消耗品などの実用品を贈呈しました。【12月22日実施】

対象世帯数 8件



(10) 生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯などに対して、低利または無利子での資金の貸し付けと必要な援助等を行うことにより経済的自立や生活意欲の助長促進、在宅福祉や社会参加を図りその世帯の安定した生活を確保することを目的としています。

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業により生活資金でお悩みの方も特例貸付が受けられます。(社協だよりで広報を行いました)

利用者数 1件

(11) 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方が地域で安心して生活できるように福祉サービスの相談・手続きなどの援助をします。

本会には2名の生活支援員が配置されています。今年度は生活支援員研修を10月15日に行いました。

利用者数 0件



(12) 無償移送サービス

通常の車輛では移動が困難な方に対して福祉車両(車いす対応車、寝台車等)を使用し、診療所への送迎、島前病院からの退院時の送迎等を行いました。(利用については、診療所の医師等との協議によります)

実利用者数 : 6名 延べ利用者数 : 6名

(13) 出産祝い品贈呈 対象家庭件数 3件



(14) 初盆供え物 対象世帯数 6件

(15) 広報活動

○広報誌の発行(毎月1回) 招福苑・社協事業の内容等を村民に情報提供しています。

○ホームページの更新、インスタグラム・フェイスブックへの投稿

*事業の透明性、公共性を高めるため、インターネットで閲覧できるホームページを設けています。事業内容とともにブログで招福苑の日常の様子もお伝えしています。

*福祉の魅力発信のため、SNSを活用した写真の投稿にも取り組んでいます。

<http://chibu-shakyo.sakura.ne.jp>



ホームページ



CHIBUSHAKYO

インスタグラム



フェイスブック

QRコードからご覧ください!

〈法人運営事業〉

(1) 役員会等開催状況

① 理事会:4回 (出席者数)

- 6/1(8名)
1. 令和2年度事業報告・決算報告・監査報告及び決算書の承認について
 2. 職員等の給与等に関する規程の一部改正について
 3. 令和3年度一般会計歳入歳出補正予算(第1号)について
 4. 任期満了に伴う役員選任候補者(案)について
 5. 令和3年度評議員選任・解任委員会の開催日時及び議事に付すべき事項の決定について
 6. 知夫村地域福祉計画・知夫村地域福祉活動計画(案)について
 7. 令和3年度第1回評議員会開催日時及び議事に付すべき事項の決定について
- 6/18(8名)
1. 任期満了に伴う会長・副会長・常務理事の選任について
- 11/30(7名)
1. 職員等の給与等に関する規程の一部改正について
 2. 令和3年度一般会計歳入歳出補正予算(第4号)について
 3. 令和3年度第2回評議員会開催日時及び議事に付すべき事項の決定について

- 3/16(8名) 1. 職員等の給与等に関する規程の一部改正について
2. 令和3年度一般会計歳入歳出補正予算(第5号)について
3. 令和4年度事業計画(案)について
4. 令和4年度一般会計収支予算(案)について
5. 令和4年度一般会計の借入限度額の決定について
6. 令和4年度一般会計を補正する際の会長専決限度額について
7. 令和3年度第3回評議員会開催日時及び議事に付すべき事項の決定について

② 評議員会:3回

- 6/17(12名) 1. 令和2年度事業報告・決算報告・監査報告及び決算書の承認について
2. 職員等の給与等に関する規程の一部改正について
3. 令和3年度一般会計歳入歳出補正予算(第1号)について
4. 任期満了に伴う理事及び監事の選任について
5. 知夫村地域福祉計画・知夫村地域福祉活動計画(案)について

- 12/10(11名) 1. 職員等の給与等に関する規程の一部改正について
2. 一般会計歳入歳出補正予算(第4号)について

- 3/24(11名) 1. 職員等の給与等に関する規程の一部改正について
2. 一般会計歳入歳出補正予算(第5号)について
3. 令和4年度事業計画(案)について
4. 令和4年度一般会計収支予算(案)について
5. 令和4年度一般会計の借入限度額の決定について
6. 令和4年度一般会計を補正する際の会長専決限度額について

③ 評議員選任・解任委員会:1回

- 6/9(3名) 評議員選任候補者の選任について

④ 監査等:3回

- 5/20 令和2年度事業実施状況並びに会計処理、決算等の監査(監事2名)
7/15 令和2年度会計処理等の内部経理監査(本会職員2名)
8/31 令和2年度知夫村補助事業に関する監査(知夫村2名)

(2) 役員研修等

- 12/1 令和3年度社会福祉法人監事研修(監事2名)
12/10 評議員会にて「インターネットと人権」WEB講演会(9名視聴)
2/22 社会福祉法人役員研修「ICT機器導入の視点を学ぶ」(6名視聴)

〈その他〉

(1) 地域包括支援センターへの職員派遣(ケアマネージャー1名、社会福祉士1名)
認定調査延べ人数 17名 ケアプラン作成延べ件数 27件

(2) 各種関係機関等との連携強化

- ・知夫村教育委員会(どっさり祭りなど)
- ・知夫村立知夫小中学校(福祉教育など)
- ・知夫村診療所、知夫村村民福祉課(地域ケア会議:随時、高齢者サポート会議:随時)
- ・島前病院、福祉用具のさか他(サービス調整会議:随時)
- ・広域連合介護保険課(介護認定審査会への出席:随時)
- ・隠岐島消防署(一人暮らし高齢者宅防火安全指導への協力)



(3) 苦情の受付 1件

(4) 知夫村共同募金委員会の事務

(5) 知夫村民生児童委員協議会の事務

(6) 知夫村身体障がい者協会の事務

(7) 知夫村遺族会の事務

(8) 自衛消防避難訓練(年2回)

居住者さんと赤はげ山に
ドライブに行きました！
新しい保育園も見学しま
した！

